

【第6回(通算67回)】2017年11月28日(火) 10:00~17:00

【第7回(通算68回)】2017年11月29日(水) 10:00~16:50

マイナンバー普及対策セミナー

教育の情報化推進対策セミナー

迫る本格運用に向け万全の準備を—

実践期のICT教育推進対策セミナー

マイナンバー

小学校プログラミング教育必修化

—情報連携本稼働への対応状況・計画

—2020年に向けた教育体系整備と推進策

【講師陣】
森中 高史 氏/総務省 大臣官房個人番号企画室参事官補佐
小泉 和久 氏/浦安市 市民税課税制係長
中田 直樹 氏/町田市 総務部情報システム担当部長
木村 祐介 氏/三鷹市 企画部情報推進課主査
菅 勇輝 氏/㈱両備システムズ 社会保障事業部ソリューション部主任
角田 隆 氏/㈱両毛システムズ 公共統括営業部公共営業課
榎並 利博 氏/㈱富士通総研 経済研究所主席研究員
電子自治体推進パートナーズ副会長

【講師陣】
安彦 広齊 氏/文部科学省 生涯学習政策局
情報教育課情報教育振興室長
利根川 裕太 氏/特定非営利活動法人みんなのコード 代表理事
文科省 小学校段階における論理的思考力や創造性、問題解決
能力等の育成とプログラミング教育に関する有識者会議委員
佐和 伸明 氏/柏市 教育委員会 学校教育課 副参事
加藤 聖記 氏/渋谷区 教育委員会副参事 (特命担当課長)
㈱内田洋行教育総合研究所

【第6回】マイナンバー普及対策セミナー

2017年11月28日(火) 10:00~17:00

迫る情報連携に向け万全の準備を—

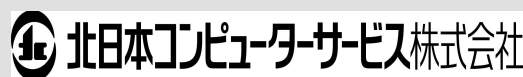
マイナンバー—情報連携本稼働への対応状況・計画

- 総務省・情報連携本格運用開始に向けて一試行運用の準備~実施状況、報告された課題と対応状況、本格運用での留意点
- (自治体担当者及びICTベンダー) 試行運用から見えてきたこと、成果と残された課題、対応策、今後の取組み
- マイナンバー情報連携の試行運用~本格運用での残された課題を中心に講師・参加者との意見交換を通して情報共有を図る

時	講 義 内 容	(開催要領・申込は裏面参照)
10:00	1. (総務省) 情報連携本格運用に当たって ~試行運用の成果と課題	総務省 大臣官房個人番号企画室参事官補佐
10:00	(1) 試行運用開始(7月18日)までの準備状況について	森中 高史 氏
11:00	(2) 試行運用において報告された課題の概要と対応状況	
11:00	(3) 本格運用の対象となる事務手続や省略される書類の概要	
11:00	(4) 本格運用における留意点	<質疑応答>
11:10	2. (自治体報告) 情報連携の本稼働に向けて一試行運用の報告と残された課題・対応策 情報連携本稼働にあたって、開発・テスト運用で苦労された点、残された課題、今後の計画についての報告	
11:10	2-1. 千葉・浦安市における情報連携本稼働の状況について	浦安市 市民税課税制係長 小泉 和久 氏
12:40	2-2. [東京・町田市] 情報連携の試行運用で見えてきたこと~残された課題と今後の対応	町田市 総務部情報システム担当部長 中田 直樹 氏
12:40	2-3. マイナンバー情報連携の本稼働と東京・三鷹市における課題	三鷹市 企画部情報推進課主査 木村 祐介 氏
13:30	3. (ICTベンダー報告) 情報連携の本稼働をサポートするにあたって試行運用の報告と残された課題・対応策 情報連携本稼働に向けた報告と、マイナンバー(及びカード)普及に向けた取組み方法等の提案	
13:30	3-1. 健康管理システムにおける情報連携の現状と課題	㈱両備システムズ 社会保障事業部ソリューション部主任 菅 勇輝 氏
14:30	3-2. 情報連携と両毛システムズの取組み	㈱両毛システムズ 公共統括営業部公共営業課 角田 隆 氏
14:45	4. (問題提起) 情報連携システム運用の本稼働~安定運用の確保に向けて	㈱富士通総研 経済研究所主席研究員 榎並 利博 氏
15:10	5. (パネル討論(質疑応答&意見交換)) マイナンバー制度を生かす情報連携システム運用の安定・充実に向けて	
17:00	司 会: 榎並利博氏(㈱富士通総研 経済研究所主席研究員、電子自治体推進パートナーズ副会長) パネラー: 小泉和久氏(千葉・浦安市)、中田直樹氏(東京・町田市)、木村祐介氏(東京・三鷹市) 菅勇輝氏(㈱両備システムズ)、角田隆氏(㈱両毛システムズ)	

(終了後)情報交流・交流会(講師・希望者/会費制)

「電子自治体推進パートナーズ」第Ⅶ期事業[戦略セミナー]を応援します



特別協賛(会場提供)



実践期のICT教育推進対策セミナー

小学校プログラミング教育必修化

—2020年に向けた教育体系整備と推進策

■ 文部科学省の小学校プログラミング教育推進施策と教育システムの開発、準備、実施方策

■ [千葉・柏市、東京・渋谷区] プログラミング教育の教育体系と実施の成果、課題、今後の取組み

時	講義内容
10:00 }	1. 文部科学省の教育の情報化推進施策 ~2020年小学校のプログラミング教育必修化に向けた推進施策等~ 文部科学省 生涯学習政策局 情報教育課情報教育振興室長 安彦 広斉 氏
11:20	(1) 小学校プログラミング教育必修化の社会的背景について (2) 教育改革の動向について (3) 新学習指導要領における教育の情報化について (4) プログラミング教育について (5) 文部科学省の推進施策について <質疑応答>
11:30 }	2. 2020年小学校プログラミング必修化に向けてどう準備するか? 特定非営利活動法人みんなのコード 代表理事 利根川 裕太 氏
12:50	(1) はじめに (2) 小学校プログラミング教育必修化の社会的背景について (3) プログラミング教育の方向性について (4) プログラミング教育の先行事例について (5) 現場を巡っていて感じる課題感 (6) では、どのように準備するべきか? <質疑応答>
13:50 }	3. [千葉・柏市] 今年度から市内全小学校(42校)でプログラミング教育実施 ~柏市プログラミング教育が目指すもの~ 柏市教育委員会 学校教育部学校教育課副参事 佐和 伸明 氏
15:00	(1) 先行実施する背景 (2) 学校でのプログラミング教育の状況 (3) 地域社会や家庭との連携 (4) 今後に向けて <質疑応答>
15:10 }	4. [東京・渋谷区] プログラミング教育のモデル小学校での取組み ~教育体系「渋谷モデル」の開発を目指して~ 渋谷区 教育委員会副参事 加藤 聖記 氏
16:20	(1) 渋谷区のICT教育の概要~「渋谷モデル」の開発を目指して (2) 小学校プログラミング教育必修化に向けた実証実験の実施 ~民間との連携によるモデル小学校実証による成果・課題・今後の計画 (3) 2020年小学校プログラミング教育必修化に向けた準備 (4) 文部科学省・次世代学校支援モデル構築事業の取組み <質疑応答>
16:30 }	6. ICT教育への(株)内田洋行の取組み (株)内田洋行教育総合研究所
16:50	

(終了後)情報交流・交流会(講師・希望者/会費制)

【戦略セミナー開催要領】

[会場] 内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS
(東京都中央区新川2-4-7) ※地図は申込後送付

【情報交流】

終了後に講師と参加者(希望者)による交流・交流会(会費制/3,000円)有。

■ 下記申込書に所要事項を記入の上送付下さい(FAX/メールは下記HPから申込み下さい)。

■ 支払方法: 請求後の振込・郵便振替・当日払い

請求書等書類が不要の方は開催日までに右記口座へ振込をお願いします(受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点を明記下さい)。

[参加費] 1名様/1回当たりの料金

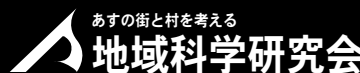
第6・7回	当日参加
行政・議員	15,000円
一般	30,000円

※第6回と第7回に
メディア参加の設定はございません。

注) 第6回と第7回は別料金となります。

■ 支払(振込) みずほ銀行麹町支店 普通1159880
口座 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替:00110-8-81660 口座名: 地域科学研究会

お申し込み・お問合せ【事務局】



東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993 〒102-0082
URL: http://cloud.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書(年 月 日) 希望欄にレ印を入れて下さい】

- 第6回参加 「マイナンバー—情報連携本稼働の対応状況・計画」
 第7回参加 「小学校プログラミング教育必修化」

団体・所属
(請求書等宛先名)

住所〒

TEL	FAX	E-mail	連絡担当者
参加者氏名	所属部課役職名	参加者氏名	所属部課役職名
参加者氏名	所属部課役職名	必要書類〔納品書() 請求書() 見積書() 領収書()〕 支払方法〔銀行振込() 郵便振替() 当日払い()〕 請求書等宛先名:	